

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話し言葉と書き言葉の違いに気付く力が身に付いている。
- 文の中における主語と述語の関係を捉えることが身に付いている。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりすることに課題がある。

【算 数（数学）】

- 計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する力が身に付いている。
 - 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはめて記述する力が身に付いている。
 - 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解に課題が見られる。
-

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができている。
 - 自分で計画を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する活動に取り組んでいる。
 - 地域や社会をよくするために何かしてみたいという気持ちがある。
 - 学習したことを次の学習や、日頃の生活の中で活用しようとすることに課題がある。
-

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 全校での授業改善の推進（表現や交流といった言語活動を取り入れた授業）
- ・ 全校での名人の取組（ノート名人、ふり返り名人、話し方マスター）
- ・ 小集団による交流活動

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 課題や解決方法等を自己設定、自己決定し、その理由を大切にする学習活動
- ・ 目的をもって解決・探究する学習活動（国語・総合的な学習の時間等）
- ・ 定着が不十分だった内容の重点指導（少人数指導・補充学習等）

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ ペアや小集団での交流活動
- ・ 学校と地域の方でねらいを共有、連携を図り内容を充実させた生活科・総合的な学習の時間の実践

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 学習を振り返ったり、自分の学びの過程を自覚したりする活動
- ・ 学習したことを次の学習や総合的な学習の時間等で、活用していく活動